

北の機能性作物活用シンポジウム

『道内アグリ・フーズ分野の技術開発と新事業化戦略』

今日、一次、二次、三次産業を連結させた6次産業化が重視される中、道内の特色ある農産物に対し、市場ニーズに合致した健康機能性や加工技術を開発し、高付加価値製品をいかに販路・流通に結びつけるかが、喫緊の課題となっています。本年4月に道新より発刊しました研究会25周年記念書籍「北の健康野菜」の科学・技術成果を、さらに事業化に向け活用しつつ、道内アグリ・フーズ産業活性化を目的にシンポジウムを開催します。

本シンポジウムは、農林水産省の実施する委託事業「地域産学連携支援事業」の一環として実施するものです。

日時：平成23年10月21日（金）13：20—17：30（開場 13：00）

場所：札幌ガーデンパレス2階「孔雀」

（札幌市中央区北1条西6丁目 TEL011-261-5311）

参加費：無料

主催：(NPO) グリーンテクノバンク、農林水産省

後援（予定）：経済産業省北海道経済産業局、北海道、札幌市、北海道経済連合会、北海道中小企業家同友会、(財)北海道科学技術総合振興センター、(社)農林水産先端技術産業振興センター、(NPO)北海道バイオ産業振興協会、東海大学北海道キャンパス

13：20—13：35 主催者挨拶

13：35—14：30 基調講演「北方系食材の機能性評価と生体内応答」

藤女子大学人間生活学部・教授

知地 英征氏

14：30—15：05 講演1「『ゆめぴりか』から『産業用大麻』まで～北海道

農業の活性化戦略を考える～」

農業活性化研究所・代表（前上川農業試験場長） 菊池 治己氏

15：05—15：40 講演2「ダツタンソバの育種、栽培、利用の現状と将来展望」

北海道ダツタンそばの会・会長

川端 習太郎氏

15：40—15：50 休憩

15：50—16：55 パネルディスカッション「『北の健康野菜』の現状と事業化の展望」

コーディネーター：東海大学・前副学長

西村 弘行氏

パネリスト：

北海道大学大学院農学研究院・准教授

鈴木 卓氏

(地独)北海道立総合研究機構食品加工研究

センター・研究参事

田村 吉史氏

(株)ホクユーファーマー専務取締役

大屋 収氏

(有)長命庵・代表取締役

森 清氏

16：55—17：00 閉会挨拶

シンポジウム 参加申込書 締切：10月17日（月）

所属名	お役職	お名前

お問い合わせ：(NPO) グリーンテクノバンク

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目ピア 2・1 5階

Tel：011-210-4477

E-mail：gtbh@almond.ocn.ne.jp（事務局長・折登一隆）

▼FAX:011-210-4477